

GET UP, STAND UP
SUPMAG

さあ海にでよう、散歩するように、バイクで遠出するように

[出版企画書]



製作進行 = 越川周治 (Hi-Wind)
<http://www.hi-wind.net/>
http://twitter.com/#!/Hi_Wind
hw-koshikawa@mpcy.co.jp

編集執筆 = TOKO (words-by-toko.com)
▼HW誌上でSUP記事連載中
<http://words-by-toko.com/>

■■■2012年4月出版・A4ワイド120ページ (予定)

photography by Darrell Wong

水平線まで 遠足に

SUP、スタンドアップパドルボード。

ハイウインドは“Final Water Sports”たりうるポテンシャルを感じ、2009年4月号より、弊社上でその連載を行っております。

SUPの、敷居の低さ、奥の深さ。カラダはもちろん、生活観、人生観すら変える、その「体験」の質。さらには、波乗り、フィッシング、リバーラフティング、フラットクルーズなど、水平線までひろがる、そのフィールド……。

しかし現在、SUP専門メディアも、ポータルサイトもありません。情報はこま切れ、潜在ビギナーは戸惑い、チャンスを逃す。じつにモッタイない！だから、

”SUPMAG” 創刊



contents 01

EQ SOFTWARE (道具の選びかた、活かしかた)

THIS IS IT

■御社ライダーによる、ボード&パドルテスト

※いまの読者はパブリシティーのしくみを分かっています。ならば正直に、所属ライダーにセールストークをさせればいい。しかしあくまで透明、具体的に。ライダーお薦めのファーストギア（最初に買う道具）を解説

R&D NOW (GEAR CATALOGUE 2012)

■SUPのハード、ソフトは、毎年いちじるしく進化しています。御社製品のそのベクトルと最新プロダクツを解説。平板になりがちなカタログページの情報の質を高め、説得力あるバイヤーズガイドに。

EXTREME'n SLOW

■オールラウンドかつハイCPなボードから、17フィートの海峡横断艇、チューブライダー、漁船（ボードフィッシング専用艇）まで、御社の“ONE AND ONLY”モデルを解説。

PROSHOP GUIDE

■ローカルパドラーとビギナーたちにとってのデータベースになりうるショップガイド。将来、SUPポータルサイトとして、SUPMAG.jpを起ち上げ、サイト連動計画も。

and more



photography by Kiyotaka Kitajima

photography by Shinichi Honda





contents 02

PHYSICALITY (快感的にカラダを変える)

PHYSICAL FITNESS

- SUPはカッコいいカラダへの最短手段。最大効果の有酸素運動。体幹、インナーマッスル、細マッチョ、いつもは使わない小さな筋肉群を総動員。
- パドラーでありスポーツ健康学研究者がSUP効果を証明。マウイで流行、SUPヨガ etc

MENTAL HEALTH

- SUPは、筋肉だけではなく、血液にも、脳にも効く。
- 海に通う、という生活習慣。

SUPer FASHION

- 脱・ウエット、脱（ふつーの）サーファーファッション。マウイキッズのセンスに学ぶ。SUPアパレルの提案 etc

and more

GET UP, STAND UP
#00

BOOM 2 BREAK (ブームからブレイクへ)

SUP FISHING

- まさに釣法革命、ほとんど反則。しかも試行錯誤の途上、ハード、ソフトも現在進行進化中。三浦の網元、誠司の爆釣スキル etc
- 各社からリリースされ始めた、SUP FISHING GEAR

SCIENTIFIC INSTRUCTION

- SUPに総花的なインストラクションは不要。上達の急所を TOMO、浅野則夫らトップワタメンが伝授。
- サーフィンより、イージーに、でっかく、速く、SUPで波乗り。

PEAK PERFORMANCE

- ビッグウェイブ、海峡横断、エクストリームワールド。

Super SUPPER

- 世界王者は18歳、レジェンドワタメン、3段腹を3ヶ月で8つに割った逗子の48歳男子……

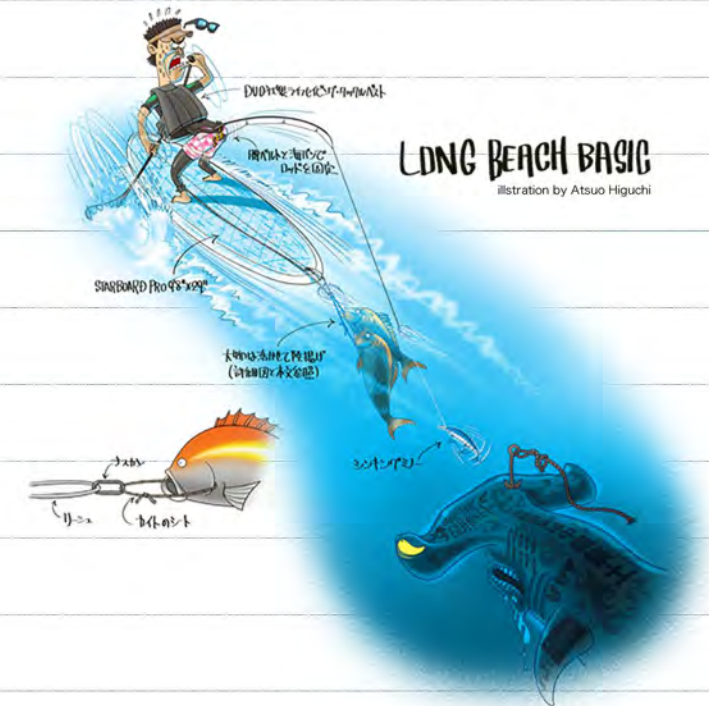
JOURNEY TO HORIZON

- 長瀬リバーラフティング、西表島エコツアーリズム……「水平線まで遠足に」

and more



(C)Seiji Satoh





GET UP, STAND UP
#00

タイアップ企画、ご提案します

- SUPは新しいスポーツ。広告も新しく。ニーズをお聞かせください。タイアップ企画ご提案します。
- 掲載コンテンツは一部であり、変更の可能性もあります。
- SUPMAG創刊、と記しましたが、正確には出版準備中で、最終決定されておりません。

■お問い合わせは、Hi-Wind編集部 越川まで、お気軽に。
編集部 = 045-770-5465
越川携帯 = 090-1734-5094
http://twitter.com/#!/Hi_Wind
hw-koshikawa@mpcy.co.jp